



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 峠だけじゃない美幌の自然

02 美幌峠のハナワラビ

Vol.340

2025/11/01



町田善康 《屈斜路湖のベニザケ》

Photo 今月の1枚

屈斜路湖は、1938（昭和13）年5月の地震で湖底から硫酸塩が噴出し、湖内の魚類はほぼ全滅したと言われています。その後、少しずつ水質の改善が見られ、様々な魚が持ち込まれました。秋、屈斜路湖に潜れば、アラスカを彷彿させる風景に感動すら覚えます。しかし、残念ながら屈斜路湖のベニザケは外来種です。（町田善康）



01 Green Column グリーンコラム

峠だけじゃない 美幌の自然

写真・文／町田善康

美幌町には、年間 60 万人が訪れる人気の行楽スポット美幌峠があります。しかし、美幌峠から見下ろすのはお隣の弟子屈町。せっかくならば町内にある素晴らしい場所を探したいと、フォトコンテスト「峠だけじゃない美幌の自然」を開催しました。審査委員長には、町に縁のある世界的な動物写真家 前川貴行氏をお迎えし、写真によって美幌町の魅力を掘り下げました。

嬉しいことに、EIZO 株式会社、サンディスク合同会社、美幌観光物産協会より賞品協賛いただき、フォトコンテストを盛り上げることができました。

結果、町内外からたくさんの作品が寄せられ、美幌町内には峠に負けない魅力的な場所があると感じました。

今後、1 月 17 日から 2 月 22 日までの期間で、前川氏が美幌町内で撮影

した写真とともに入賞作品を美幌博物館 2 階ロビーに展示します。美幌町の新しい魅力を発見するとともに、皆さんの芸術への興味関心を広がっていただければ幸いです。

ちなみに、今回の写真は、前川氏と一緒に撮影に行ったときに撮ったカルガモの親子です。母親が子供を気遣うほのぼのとした一枚になりました。美幌っていいところだな～。

なお、フォトコンテストは、「サマージャンボ宝くじ」の収益金を活用して実施しました。

美幌峠の ハナワラビ

写真・文／城坂結実



花々が咲き乱れる季節はとうに
終わり、日によっては気温が
一桁になる美幌峠の10月初旬。樹木
の葉が落ち、草花の葉も冬に向けて茶
色くなっていく風景を見ると、なんだ
か少し寂しい気持ちになります。

そんなセンチメンタルな気持ちで秋
の美幌峠を歩きながら、ふと足元を見
ると、色褪せた葉の中に、青々とした
葉をつけている植物があるではありませんか！葉のすぐ脇には茎のような
ものが立ち上がり、先端には細かい粒々
がついています（写真）。花を咲かせ
る季節を間違えたのだろうか？と思い
ながら調べてみると、シダ植物の一種
で、ハナワラビ科のエゾフユノハナワ
ラビのようでした。粒状のものは花で
はなく胞子で、茎のように立ち上がっ
ているものを含めて胞子体と呼ばれます。

「蝦夷冬の花蕨」という名の通り、
冬を目前にして新しい葉を出し、花の

ような胞子体を立ち上げる、冬を告げ
てくれる植物です。エゾフユノハナワ
ラビはめずらしい植物ではなく、美
幌みどりの村森林公園や柏ヶ丘公園な
ど、市街地に近い場所にも生育してい
ます。

実は、エゾフユノハナワラビにとて
もよく似たものに、ハナワラビ科のヤ
マハナワラビがあります。ヤマハナワ
ラビは、エゾフユノハナワラビに比べ
ると全体が小さく、葉はやや厚く先は
丸みを帯びます。また、柄には白い毛
がないか少ないのがポイントとされて
います。

しかしこの2種類の見分け方は、
植物に詳しい人でも間違えてしまうく
らい難しいようです。これから冬ごも
りの季節。美幌峠に生育しているもの
がエゾフユノハナワラビなのか、ヤマ
ハナワラビなのか、専門家にも確認し
ながら、慎重に調べてみたいと思います。

Exhibition 展示

企画展「おひろめコレクション展」

11月15日（土）～令和8年1月18日（日）



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

プチ工房「虫よけオニヤンマ」

11/14（金）、15（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／鬼丸和幸（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

プチ工房「サンタとトナカイのキャンドル」

12/5（金）、6（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／町田善康（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

どんぐりから苗木を育てようと植えたところ、何者かに掘り出され、齧られてしまいました。歯型もくっきり。動物たちも、冬に向けて大忙しのようです。（城坂結実）



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

